

令和3年度政務活動費実績報告書(真正会)

No	項目	金額	使途明細
1	調査研究費	° 252,368	
2	研修費	° 37,910	
3	広報費	° 636,464	
4	広聴費	° 1,264	
5	要請・陳情活動費	0	
6	会議費	° 49,400	
7	資料作成費	° 2,270	
8	資料購入費	° 186,934	
9	人件費	0	
10	事務所費	° 102,661	
	合計 (B)	° 1,269,271	

支給額(A)

1,440,000

(A)-(B)=

▲ 170,729 °

令和3年度政務活動費実績報告書(真正会全体)

No	項目	金額	使途明細
1	調査研究費	0	
2	研修費	0	
3	広報費	636,464	会派会報印刷料・封筒代・郵送料
4	広聴費	0	
5	要請・陳情活動費	0	
6	会議費	0	
7	資料作成費	0	
8	資料購入費	0	
9	人件費	0	
10	事務所費	31,900	備品購入費
	合計	668,364	

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

会派名又は議員名	会派 真正会		令和 3 年度	N o.
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input type="checkbox"/> 事務所費			
活動内訳	会派会報印刷料・封筒代・郵送料			
整理番号(枝番)	支出年月日	支出金額	用途・備考	
()	令和3年7月10日 /	✓ 24,950	真正会だより印刷料37,425円×2/3	
()	令和3年10月7日 /	◦ 23,213	真正会だより印刷料34,820円×2/3	
()	令和3年10月4日 /	◦ 9,100	真正会だより印刷料13,650円×2/3	
()	令和3年12月25日 /	◦ 26,433	真正会だより印刷料39,650円×2/3	
()	令和4年3月23日 /	◦ 24,827	真正会だより印刷料37,240円×2/3	
()	令和4年3月23日 /	◦ 9,240	真正会だより印刷料13,860円×2/3	
()	令和3年7月13日	◦ 101,200	封筒代151,800円×2/3	
()	令和3年7月13日	◦ 147	振込手数料220円×2/3	
()	令和3年7月19日 /	◦ 19,936	真正会だより郵送料29,904円×2/3	
()	令和3年7月19日 /	◦ 10,092	真正会だより郵送料15,138円×2/3	
()	令和3年7月19日 /	◦ 11,677	真正会だより郵送料17,516円×2/3	
()	令和3年7月19日 /	◦ 40,040	真正会だより郵送料60,060円×2/3	
()	令和3年8月24日 /	◦ 16,712	真正会だより郵送料25,068円×2/3	
()	令和3年10月15日 /	◦ 10,092	真正会だより郵送料15,138円×2/3	
()	令和3年10月15日 /	◦ 11,677	真正会だより郵送料17,516円×2/3	
()	令和3年10月15日 /	◦ 19,992	真正会だより郵送料29,988円×2/3	
()	令和3年11月4日 /	◦ 38,584	真正会だより郵送料57,876円×2/3	
()	令和3年12月30日 /	◦ 19,600	真正会だより郵送料29,400円×2/3	
()	令和3年12月30日 /	◦ 11,677	真正会だより郵送料17,516円×2/3	
()	令和4年1月19日 /	◦ 10,092	真正会だより郵送料15,138円×2/3	
()	令和4年1月11日 /	◦ 36,338	真正会だより郵送料54,507円×2/3	
()	令和4年2月3日 /	◦ 83,455	真正会だより郵送料125,182円×2/3	
()	令和4年3月29日 /	◦ 11,677	真正会だより郵送料17,516円×2/3	
()	令和4年3月29日 /	◦ 10,092	真正会だより郵送料15,138円×2/3	
()	令和4年3月29日 /	◦ 19,600	真正会だより郵送料29,400円×2/3	
()	令和4年3月28日 /	◦ 36,021	真正会だより郵送料54,032円×2/3	
合計		◦ 636,464		

送り状 兼代引金額領収書		発送日 : 21年07月09日	お問い合わせNo. : 5184-7274-3062 個数 : 4
お届先 広島県三次市三和町敷名4795-1 横光審市	様 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	代引金額 (消費税含)	¥37,425
		消費税等	¥3,402
品名・荷姿 【印刷物】真正会だより 8000部×1種 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL093-434-9666	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	80 サイズ
		8000部×1種	100 サイズ
領収書発行者 (佐川フィナンシャル) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 (佐川急便) 東京都港区上原3-10-10		印刷税申告納 付につき下京 税務署承認済	140 サイズ

送り状 兼代引金額領収書		発送日 : 21年10月06日	お問い合わせNo. : 5184-7973-9212 個数 : 4
お届先 広島県三次市三和町敷名4795-1 横光審市	様 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	代引金額 (消費税含)	¥34,820
		消費税等	¥3,165
品名・荷姿 【印刷物】真正会だより10月 7000部 ×1種 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL0771-25-7510	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	80 サイズ
		7000部×1種	100 サイズ
領収書発行者 (佐川フィナンシャル) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 (佐川急便) 東京都港区上原3-10-10		印刷税申告納 付につき下京 税務署承認済	140 サイズ

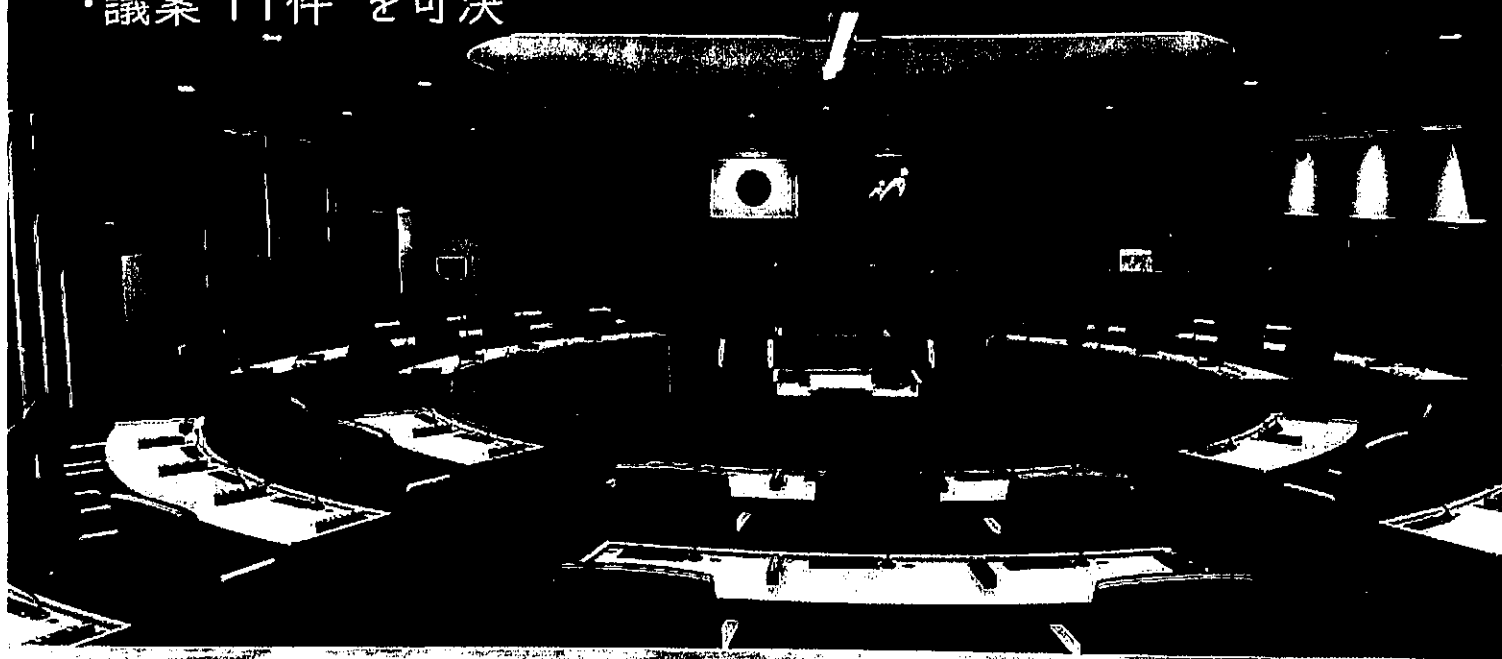
送り状 兼代引金額領収書		発送日 : 21年10月03日	お問い合わせNo. : 5184-7946-8361 個数 : 2
お届先 広島県三次市三和町敷名4795-1 横光審市	様 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	代引金額 (消費税含)	¥13,650
		消費税等	¥1,241
品名・荷姿 【印刷物】真正会だより10月 (中面) 7000部×1種 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL093-434-9666	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	80 サイズ
		7000部×1種	100 サイズ
領収書発行者 (佐川フィナンシャル) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 (佐川急便) 東京都港区上原3-10-10		印刷税申告納 付につき下京 税務署承認済	140 サイズ

送り状 兼代引金額領収書		発送日 : 21年12月24日	お問い合わせNo. : 5184-7761-3463 個数 : 4
お届先 広島県三次市三和町敷名4795-1 横光審市	様 京都府向日市森本町野田3-1 株式会社プリントバック 株式会社プリントバック TEL0120-977-920	代引金額 (消費税含)	¥39,650
		消費税等	¥3,605
品名・荷姿 【印刷物】真正会だより1月号 7000部 ×1種 ■ヨビ同封 【土・日・祝を含め何曜日でも受取可】	佐川急便問合 TEL0771-25-7510	上記代金を領収致しました。 領収日 年 月 日	80 サイズ
		7000部×1種	100 サイズ
領収書発行者 (佐川フィナンシャル) 東京都江東区新砂1-8-10 集金代行者 (佐川急便) 東京都港区上原3-10-10		印刷税申告納 付につき下京 税務署承認済	140 サイズ

みよしの希望 真正会だより

三次市議会6月定例会

議案11件を可決



6月定例会 6月18日(金)～7月2日(金)15日間開催される

議会運営委員会とはどんな委員会?

議会運営委員会は、各会派から選出された委員で構成され、議会を円滑に運営するために定期的に開催されています。1カ月前の5月18日に開催され、新家議長から「議員定数等調査特別委員会」を設置する提案が行われ、各会派に持ち帰り、会派で協議を行い委員の推薦を行いました。

また、6月定例会の審議日割、一般質問者の決定、「緊急事態宣言」の発出に伴う移動等に関する申し合わせについての協議を行っています。

告示日に開催される委員会は6月7日に開催され、定例会に提出される付議案件21件について、執行部から説明を受けるとともに、定例会の運営について協議を行いました。

また、意見書が2件提案され、各会派に持ち帰り、議会として提案するか否か協議しました。

特別委員会については、各会派から委員の推薦報告を受け委員会で確認し、6月18日の本会議において議長から特別委員会の設置を発議され、議決の後、議長から10人の委員が指名されます。

定例会前日に開催される委員会は6月17日に開催され、最終的な定例会の運営についての協議と意見書について協議を行い、それぞれ提出することとなり、議会運営委員会副委員長と教育民生常任委員会副委員長が提案者を代表して提案することを決定しました。

最終日の、本会議前の委員会では、採決等議会運営について協議を行い、本会議後の委員会では、9月定例会の審議日割りや6月定例会を振り返っての意見交換を行い、次回以降の定例会に活かすこととしています。(横光春市)

総務常任委員会

総務常任委員会は6月24日に開催され、議案64が付託され、審査の結果、原案のとおり可決されました。主な議案を紹介します。

議案第60号の消防団員を50人削減し機能別消防団員を50人増員する条例改正(案)では、近年の気象変動で水害が多発する現状の中で、水防活動を充実するため機能別消防団を増員して災害に備えるための条例改正です。

委員会からは、「有事における消防団との連携も見視野にさらなる地域防災力の向上を図りたい。」と意見を付しています。

議案第62号グリーンビューあわしま市営住宅は、市営住宅建設当時、条例の第5条第4項に「当該住宅に20年以上居住する予定のある者」と規定して入居している者に、20年経過した今年度住宅を有償譲渡するために条例を廃止する条例(案)です。本条例は20年後の分譲住宅的な事業で、定住を意識した市営住宅の建設で良い事業であったと感じましたが、入居当時の説明不足も明らかになり、今後の事業執行に活かして頂きたいと委員会から意見を付しています。(齊木 亨 横光春市)

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は6月28日に開催され、議案1件の審査と所管事務調査を行いました。

議案第68号は、3月16日に発生した上水道の濁水により食品工場で製造した商品が使い物にならなくなったことに対する損害賠償の額(約76万円)を定める議案が付託され、可決されました。

審査の過程で明らかになったことは、市内には、高度経済成長期に敷設され、現在もそのまま40年以上使用している老朽管が10.4%(96km)、20年以上経過している経年管が36.9%(339km)を占めており、今後の更新、維持費用の多額な出費が確実に必要な状況です。

しっかりとした予算確保を図り、計画的な更新をするように意見しました。

三次市の財政事情は厳しいですが、同様な事故が起こらないようにすることはもちろん、災害に強い水道事業を展開することが市民生活を守る上で不可欠です。(杉原利明)

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は6月25日に開催され、議案3件の審査と所管事務調査を行いました。

議案第63号「三次市税条例の一部を改正する条例(案)」は市民税非課税判定国外居住親族の取り扱い見直し、及びセルフメディケーション税制延長条例規定の整備を行うものです。

議案第64号「三次市手数料徴収条例の一部を改正する条例(案)」は、個人番号カードの再交付手数料の規定を削除するものです。

議案第65号「三次市奥田元宋・小由女美術館設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」は、ペアチケットを廃止し、利用料金上限額のみの規定に変更すること、毎週水曜日を定例休館日と定める内容で、委員からは、マイノリティへの配慮、パートナーシップ条例等の必要性が質疑されました。

夫婦に限定したペアチケット割引を廃止することで、企画展、行事に沿ったサービスを指定管理者と協議し、より良いサービスの提供が見込まれるとの答弁でした。

条例の一部改正(案)は、「市民生活に直結した改正で行政サービスの後退にならないようにするために、社会情勢を勘案し、指定管理者と協議を進め、広く来館者に喜ばれる取組を推進されたい。」と委員会として意見を付しています。

また、所管事務調査では、ワクチン接種の状況、今後の方向性について担当部の出席を求め、活発な質疑を行いました。(鈴木深由希)

議員定数等調査特別委員会

特別委員会の設置は、必要がある場合において議会の議決で置く。と三次市議会委員会条例第5条で定められています。

新家議長は議長選挙の立候補にのみ「議員定数を削減し、報酬額を予算の範囲内でアップさせる。そのために特別委員会を設置する」と公約し、選挙後就任。

6月定例会において発議し、全員一致で議決され、議員定数等調査特別委員会を設置しました。

6月23日の本会議終了後、委員会が招集され委員長、副委員長の互選を行い、委員長に小田伸次議員、副委員長に杉原利明議員が互選されました。

(横光春市)

市政を問う!

市はどのように
考えているの
かな～



一般質問は「新型コロナウイルス感染症対策として、各会派半数の議員が質問を」との議長要請により、真正会では齊木議員と横光議員が質問しました。

【齊木 亨議員の質問】

① 豪雨災害時の孤立集落の解消の取組について質問しました。

1. 寸断される国道375号線の対策については、県で測量調査等の予算措置がされているので、これにより対応を検討されるものとの回答でした。

2. 市道の整備状況の質問に対し、門田上と門田下間の改修計画は今年度調査設計を行うという答弁でした。

3. 市道井手平柳原線の改良については、緊急性、必要性など優先順位をつけながら進めていくとの答弁でした。

② 森林環境譲与税使途について

1. 森林経営管理・意向調査の進捗の質問には、三良坂町灰塚、仁賀、甲奴町太郎丸、有田地区、吉舎町桧地区3か所の調査を実施している。

2. 竹林の整備については、景観整備や民家裏山の危険木伐採などを事業化しており、県とも税とすみわけを考え、柔軟に使えるよう協議していきたい。

3. 公共道路管理にこの税が使えないかということでは、公共施設周辺の道路の支障木伐採は、自治連が所有者に同意を得た箇所での伐採事業を行っているとの答弁を得ました。

③ コミュニティスクールについては、運営基本方針を決めるのに、三次市ではこれまで児童・生徒のふるさと学習に地域が関わっており、地域とともに育んでいく。との答弁でした。

④ 増えたツキノワグマについては、市長から最近の市内目撃情報、また県内の目撃もかなり増えており、県に西中国地域の実情を訴え、要望をしていくとの答弁を得ました。

⑤ 広島県防災情報システムについて、市民の閲覧の有無と、災害情報の伝達方法について質問し、県では防災チャットボットを試用していて、混乱する情報をAIで整理し被害箇所がリアルタイムで地図上にマッピングされ不足物資や、安否確認等ができるシステムを導入していく予定との答弁でした。

【横光春市議員の質問】

① 市民への通知文書について、②新型コロナウイルスワクチン接種と取り組む姿勢について質問しました。

今回は、特に②新型コロナウイルスワクチン接種について報告します。

三次方式の個別接種は、かかりつけ医でのワクチン接種は医師も、接種を受ける高齢者の方にとっても安心してあり非常に良い方式といえます。

そこで、市外の医療機関をかかりつけ医としている市民もおられるので、自治体間で連携協力して、市外の「かかりつけ医」でも接種出来るようにすべきではないかと質しました。

市は、将来的に広島県内のどこでもワクチン接種が出来るように働きかけると答弁がありました。

一般質問により、次のことが明らかになりました。

① 6月28日に12歳から64歳の市民に接種券を一斉に発送する。

② 基礎疾患のある人は接種券が届き次第申し込むことが出来、医師が必要と判断した場合は、市外の医療機関でワクチン接種を受けることが出来る。(65歳以上の人も可)

③ 基礎疾患のない方は、7月20日から受け付ける。

④ 8月から休日を利用して、三次中央病院で集団接種を行う予定。65歳以上の人も接種を受けることが出来る。

⑤ 若年層のクラスターを防ぐため、学校、保育所等関係者は7月10日11日に優先接種する。

※1日600人接種可能と回答あり、65歳以上の集団接種を受け付けるよう要望しましたが、混乱を防ぐため叶いませんでした。

後段では、行政の取り組む姿勢として、新型コロナウイルス感染症対策を啓発している中で、移動を伴う事業実施が見受けられたため、啓発と事業実施により市民に不信をもたれないように事業を見直す必要がある。啓発と事業執行において統一した方向で取り組むよう行政の事業全体を確認するよう指摘しました。

6月定例会補正(第4号)

市議会6月定例会は6月18日に開会され、条例改正、補正予算等の審査を行い、7月2日に閉会しました。

6月定例会は、国庫支出金と繰入金を財源に編成された補正予算です。

また、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算も2事業計上されました。

付議案件の報告は10件ありますが、一般会計の繰越明許費繰越計算書他各会計の繰越計算書が主なものです。

また、令和2年12月定例会で予算化した学校給食調理場整備事業に係る「継続費」は、地方自治法施行令第145条により、「普通地方公共団体の長は、翌年度の5月31日までに継続費繰越計算書を調整し、次の会においてこれを議会に報告しなければならない」と定められており、「継続費繰越計算書」も報告されています。

条例改正等の議案は10件提出され、各常任委員会へ付託され審議しました。

一般会計補正予算額 6,435万7千円
一般会計予算総額 379億961万4千円

【主な財源】 (単位 千円)

国庫支出金 57,552
繰入金(財政調整基金) 6,805

【主な事業は次のとおりです】 (単位 千円)

・自治体マイナポイントモデル事業 16,816

マイナンバーカードの普及促進及び地域活性化のため10月～12月の3カ月間、民間キャッシュレス決済サービス事業者3社と連携し、市内店舗でサービスを活用して買い物した市民に30%還元

・子育て世帯生活支援特別給付金事業 30,850

一人親世帯以外の低所得者の子育て世帯に対し、1人につき5万円支給(想定600人)

発行者は「会派真正会」、住所は三次市役所(議会事務局)としていますが、記載事項で不明な点や御意見は、編集後記の上に記載の議員へお問い合わせいただければ幸いです。

(横光春市)

・マイナンバーカード交付等特設窓口運営事業 1,179

マイナンバーカードの交付やマイナポイントの申込み手続きの支援のため、会計年度任用職員を雇用

・消防団加入促進支援事業 8,707

地域住民等を機能別消防団員として任命し、必要な装備品を整備する。防災教育において災害疑似体験できる機器を用いて啓発を行うことにより、啓発効果の向上と女性団員等の活動の活性化を図る。

・三次版学校ICT活用事業 6,805

家庭学習のため、タブレット端末の充電ユニットを整備。

令和3年度一般会計会計補正(第3号)

4月23日(金)に第2回臨時会が開会され、三次市税条例の一部を改正する条例等の専決処分の報告3件と三次市固定資産評価員の選任の同意を求めることについて、一般会計補正予算(案)(第3号)が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算額 3,979万円

一般会計予算総額 378億4,525万7千円

【主な財源】

国庫支出金 3,979万円

事業は、新型コロナウイルス感染症対策経費

国の新型コロナウイルス感染症対策として、「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業補助金」が交付され、ひとり親世帯に対し児童・生徒1人あたり5万円の給付を行う事業経費の補正です。

5万円×710人+事務費=3,979万円

「真正会だより」は次の議員で編集しています。

会派議員	問合せ先電話番号
杉原利明	0824-63-4205
齊木亨	0824-55-7116
鈴木深由希	0824-67-3138
横光春市	0824-52-2326

編集後記

3月まで個人で議会活動や情報を発信していましたが、会派代表者会議の協議により、これからは「会派」として議会活動報告を行うこととなり、「みよしの希望真正会だより」として発行します。

これまでの個人の活動報告は紙面の都合上割愛しました。

今回発行からは、会派所属4人の議員の一般質問や担当の常任委員会(総務・教育民生・産業建設)等の報告、補正予算の概要などを掲載することとしました。

発行者は「会派真正会」、住所は三次市役所(議会事務局)としていますが、記載事項で不明な点や御意見は、編集後記の上に記載の議員へお問い合わせいただければ幸いです。

(横光春市)

みよしの希望 真正会だより

三次市議会9月定例会

議案 28件 可決

尾関山から

9月定例会 9月3日(金)～9月30日(木) 28日間開催される

- 9月 2日 9月定例会前日議会運営委員会、議員定数等調査特別委員会
- 9月 3日 9月定例会本会議、予算決算常任委員会、広報広聴常任委員会
- 9月 6日 一般質問、総務常任委員会、議会運営委員会
- 9月 7日 一般質問
- 9月 8日 一般質問、全員協議会
- 9月 9日 教育民生常任委員会
- 9月10日 産業建設常任委員会
- 9月13日 3常任委員会連合審査会、総務常任委員会 ※議会議期中には急に特別委員会等も開催されます。
- 9月15日～9月28日 予算決算常任委員会 補正予算(案)審査・令和2年度決算審査
- 9月30日 9月定例会本会議(最終日)、定例会開会前議会運営委員会・定例会閉会后議会運営委員会

9月8日に一般会計補正予算(案)(第6号)、9月30日に(第8号)の審査を行い、それぞれ即日議決しました。今年8月大雨災害の災害復旧予算と新型コロナウイルス感染症対策予算です。

議員間の自由討議を活発に

定例会では、条例改正(案)、補正予算(案)は毎回の定例会で審議されますが、9月定例会では予算決算常任委員会で多くの期日を要して「令和2年度決算審査」が行われます。常任委員会では、条例改正等の付託案件の質疑を行い、委員会での採決、付託案件への意見を付して最終日の本会議で委員長報告を行います。

予算決算常任委員会では、「議員間の自由討議」を採用することとしています。

各部局の審査した事務事業のうち各委員の質疑の状況から、もつと詳しく議員間で成果を検証したり、今後の方向性を議員間で自由討議を行い、全体の予算決算常任委員会で再度自由討議を行うこととして取り組んでいます。

「議員間の自由討議」を採用した背景は、これまで執行部に質疑を行い、採決の後、議員の意見を述べ、委員長報告に付していましたが、委員会としての意見とするため、議員間でしっかりと自由討議を行うことが大切であると6月定例会閉会後の議会運営委員会にて議論を行い、9月定例会から採用することと致しました。

開かれた議会、市民のための議会活動を求め、常に見直して議論して進めています。

令和3年度一般会計補正予算(第5号)

令和3年第3回臨時会が8月2日に開催され、議案1件が審議され、同日可決しました。

主な内容は、7月7日と12日の大雨による災害復旧に係る経費の補正予算(案)です。

一般会計補正予算額 1億2,487万4千円
一般会計予算総額 380億3,448万8千円

【歳入の主な財源】

繰入金(財政調整基金) 123,974千円
市債 700千円
寄附金(指定寄附) 200千円

主な事業は、災害復旧に係る経費

7月に発生した災害復旧に対する予算で、主には災害査定を受けるための設計書作成に係る予算や、道路及び河川に係る崩土除去等に係る経費が主なものですが、指定寄附金受納による酒屋保育所の遊具購入の予算が20万円も含まれています。



令和3年度一般会計補正予算(第6号)

9月定例会中の9月8日議案1件が上程され、予算決算常任委員会に付託しないで審議を行い、同日可決しました。主な内容は、8月12日からの大雨による災害復旧に係る経費の補正予算です。

一般会計補正予算額 2億7,896万9千円
一般会計予算総額 383億1,345万7千円

【歳入の主な財源】

繰入金・災害対策基金他 2億3,354万9千円
地方交付税 2,674万8千円
市債 1,680万円

主な事業は、災害復旧に係る経費

8月に発生した災害復旧に対する予算で、災害査定を受けるための設計書作成に係る事業経費や、道路及び河川に係る崩土除去等に係る経費が主なものです。

予算決算常任委員会での質疑は

予算決算常任委員会の審査は、9月15日から28日まで開催しました。

9月15日は補正予算(第7号)では、基金積立金の補正もありました。

内容は、令和2年度決算で、実質収支額である一般会計繰越金が7億62万7千円の内2分の1以上を基金積立をしなければならないルールにより、歳出予算に基金積立金6億4,204万4千円の補正予算が計上されました。

過疎地域持続的発展基金積立金2億7,850万円は起債を借り受けた歳入予算を積立金に充当した補正予算です。

繰越金の多くは減債基金積立金3億6,000万円の補正で、財政調整基金の積立はありません。

この補正予算を見て、毎年のように災害が発生している状況で、財政運営がスムーズになる「財政調整基金」へ積み立てるべきではないかと質問を行いました。

総務部長は、「減債基金」に積立、起債元金を繰り上げて返済することにより、後年度負担が少なくなり財政にかかる負担が少なくなる。令和3年度3月補正において、歳出の状況を確認し、余裕があれば、財政調整基金からの繰入金を減額補正するか、決算の状況を見て基金積立を検討する。という回答でした。

災害対応など、急な財政負担に対応できる「財政調整基金」か、後年度負担を軽減できる「減債基金」か、財政がどのように運営されるのか注視していきます。

【参考】

- ・財政調整基金(貯金)などの運用利率は、
年0.02%
- ・今回繰上償還した起債の借入利率は、
年0.18%~1.2%
- ・令和2年度において、7億5,510万9,544円を繰り上げ償還したことにより、後年度の利子負担を1,734万9,578円軽減されています。

(横光春市)



令和3年度一般会計補正予算(第7号)

予算決算常任委員会で審査した補正予算の主な内容は、令和2年度決算で生じた繰越金の基金積立、過年災害・現年災害対応の補正、新型コロナウイルス感染症対応の補正予算です。

一般会計補正予算額 15億702万6千円
一般会計予算総額 398億2,048万3千円

【歳入の主な財源】

地方交付税 67,853千円
国庫支出金 72,165千円
県支出金 230,059千円
繰越金 700,625千円
市債 432,224千円

【主な事業は次のとおりです】

基金積立 642,044千円
減債基金、過疎地域持続的発展基金積立他
過年災害農業施設復旧事業 200,000千円
平成30年7月豪雨災害復旧工事の変更による増額分
道路橋梁維持管理(除雪対策) 150,000千円
過年度国庫支出金等精算返納金 118,587千円
過年度交付を受けた国庫補助金の精算返納金
県営事業負担金 75,650千円
広島県施工の令和3年度実施事業に伴う県事業負担金
小規模市道整備事業(道路修繕) 71,000千円
市道の安全対策事業等に係る測量設計及び工事(6路線)
現年災害公共土木復旧事業 50,000千円
令和3年7月豪雨災害に伴う市道等復旧工事で早期着工予定6カ所
林道整備事業 19,820千円
林道2路線の開設及び改良工事
排水ポンプ場長寿命化整備事業 17,661千円
上志和地排水機場の機械・電気設備更新に係る施設の機能診断を行う
小規模農業用施設改良事業 13,200千円
三次市土地改良区が実施する小規模農業施設改良事業に対する補助(48件)

↑産地生産基盤パワーアップ事業 5,500千円
収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、農業者が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等に対する補助事業(1件)

市営十日市墓地ブロック塀改修事業 5,411千円
市営十日市墓地ブロック塀解体等に伴う、着工前の工損調査及び工法見直しに伴う再設計委託料

【以下2件は新型コロナウイルス感染症対応分】

新型コロナウイルスワクチン接種事業 28,540千円
新型コロナウイルスワクチン接種対象者の拡大(12歳~15歳)及び従事者の時間外・休日接種加算に対する接種業務委託料

教育支援体制整備事業 1,018千円
児童生徒一人一人にきめ細かな対応を実施するため、学校教育活動を支援する教育支援員を配置し、学力向上を図る(1人で6カ月分)

令和3年度一般会計補正予算(第8号)

9月定例会最終日に一般会計補正予算(第8号)(案)提出され、審査後、即日議決いたしました。

一般会計補正予算額 7,450万円
一般会計予算総額 398億9,498万3千円

【歳入の主な財源】

地方交付税 6,009千円
国庫支出金 68,491千円

補正は「中小事業者月次支援金事業」の1件
内容は、令和3年5月~9月の売上が前年同月または前々年同月と比較して20%以上30%未満減少している中小事業者等(全業種対象)にして、月次の支援金を交付する。

・給付金の支給

法人は上限10万円、個人は5万円

・申請期間は、令和3年10月8日~12月10日
(協力金等と併用給付は受けられません)

※ 減少率 50%以上=国制度で給付

減少率 30%以上=県制度で給付

今回の補正は、国・県制度で対象にならなかった事業者の方を対象として予算化しました。

総務常任委員会

総務常任委員会は9月13日に開催され、最初に連合審査会を開催し議案第94号を審査した後、総務常任委員会に付託された議案6件について審査を行い、原案のとおり可決しました。

主な議案を紹介します。

連合審査会で審査した議案第94号は今年3月に通称旧過疎法の時限立法の期限が切れて、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が10年間の時限立法として定められたことにより、令和3年度から7年度まで5年間の計画策定案を示し、市議会の議決を求められたものです。

建設中の八次コミュニティセンター



委員会で出された主な意見は次のとおりです。

「三次市コミュニティセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例」では、建設中の「八次コミュニティセンター」の位置を建設中の番地に変更するために提出された議案です。

議案として出された番地は、八次中学校と同じ番地でした。現地の状況は、進入路は70mあまり離れており、敷地の段差は約2mあり、使用目的も異なるため、分筆をして新たな番地を「八次コミュニティセンター」の位置にすべきと説明して、反対させていただきました。

(齊木 亨 横光春市)

～こぼれ話～

6月定例会の一般質問でコロナウイルスワクチン接種は自治体間で連携して、市外の医療機関でも接種できる広域連携するよう提案しました。

その結果、7月28日に広島県内の自治体が連携して接種出来るよう協議すると市長から連絡があり、29日の中国新聞には「広島県内市町間わず接種」の見出しで報道されていました。

一般質問の成果を感じているところです。

(横光春市)

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会は9月9日に開催され、議案3件の審査と所管事務調査を行いました。

「議案第72号三次市企業立地等を重点的に促進すべき区域における市税(固定資産税)の課税免除に関する条例の一部を改正する条例(案)」と「議案第92号三次市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例(案)」は、国の法改正に伴う市条例の改正です。

「議案第73号三次市放課後児童クラブ設置及び管理条例及び三次市子ども集会所設置及び管理条例の一部を改正する等の条例(案)」は八次コミュニティ建替後、改修し複数箇所に分散している放課後児童クラブを集約して「子ども集会所」に名称を改める条例改正です。3件の審査はいずれも全員一致で可決されました。

所管事務調査は、「学校ICT活用事業について」教育委員会から今年度の事業推進状況の説明を受け、全家庭へのネット環境整備状況等を調査しました。(鈴木 深由希)

産業建設常任委員会

9月10日に開催された産業建設常任委員会は、所管事務調査を行い、三次市が策定中の「三次市観光戦略(案)」や平成30年7月豪雨災害から本年8月の豪雨災害までの被害状況並びに復旧状況の説明を受けたのち、8月に起きた豪雨災害の被災現場や建設中の大型貯留施設の工事の進捗を確認して回りました。

毎年のように災害が起こる中で、災害復旧にも遅れが出ている現状に対し、随意契約の対象金額の拡大による工事着手の早期化など、より柔軟な対応で1日も早い災害復旧に繋げるよう要望しました。

また、被災カ所は現形復旧が基本となっており、壊れた堤体をより高くすることができません。しかし、年々、瞬間雨量も増加しており、再び被災する

可能性もあるため、より強靱な復旧が可能な制度改正を求める所存です。

(杉原利明)



会派 真正会議員の一般質問

市政を問う!

市はどのように
考えているの
かな～



9月定例会の一般質問は、杉原議員と鈴木議員が質問しました。

【杉原利明議員の質問】

現在、三次市では三次市立小・中学校の規模及び配置の適正化について検討をしています。つまり、児童生徒が減少する中で、学校の統廃合を行っていくのか、少ない人数でも学校を残していくのかの方向性を出している最中です。

本年3月には、三次市が設置した規模適正化検討委員会から答申があり、その答申を元に、教育委員会議で話し合われています。

なお、答申では、小学校は完全複式もしくは学年ゼロになった時点、中学校は複式もしくは学年ゼロになった時点で統合について検討を始めるとされています。

私は当たり前のこととして、学校は地域や親のエゴのためにあるのではなく、子供たちのためにあるものだと思っています。

ですから、子供たちにとって最適な教育環境を整えるのは行政の使命です。児童数の減少が著しく、既に規模適正化の検討を始める段階に来ている学校もある中で、早急に小中学校の統合を行っていくべきだと考えています。

行政はしっかりとした基準を示し、児童生徒数の推計から対象の学校名も明記した統合計画を示すべきでは無いかと質問をさせていただきました。

答弁は、統廃合については保護者や地域と話し合っていくというこれまでと変わらぬ答弁でしたが、保護者、地域に対してボールを投げていく意思是感じられました。そのことを信じて、方針が示される日を待とうと思います。

また、学校施設を維持していくにはお金がかかります。更新費用の半分は国が負担してくれるとしても、残り半分は市が借金をすることとなります。教育は最も大切な施策だと考えています。終わりの無いものだからこそ、永続的に負担できる経費を算出して、一円も無駄にしない統廃合ビジョンを描いて欲しいと訴えました。

【鈴木深由希議員の質問】

(1) 個別避難計画について

①避難行動要支援者名簿に関する条例は障害者、高齢者、災害弱者を守るための対策であり、名簿作成の進捗状況についての問いに、執行部は、具体的な制度運用を協議中であり、10月に名簿作成システム整備を目指しており、個人情報管理の方法、地域ごとの課題を整理し、来年度の運用を目指すとの答弁でした。

②市民が命を守るために、避難行動を予め時系列で定める「ひろしまマイ・タイムライン」の普及は必須と考え、広く周知され、持続的な活用と啓発するよう提案しました。執行部は、自主防災組織、防災士と連携しポイントを押さえた普及指導を行うとの答弁でした。

③三次市防災士ネットワークの協力で各小学校で防災教室が開催されています。その防災教室の継続と思いやりや助け合いの精神、支援が必要な人への対応、他者とのコミュニケーションの指導に力を入れるべきとの提案に対し、執行部は、子どもたちに自分たちにできる支援は何かを重点的に指導するとの答弁でした。

(2) 障がい者福祉について

①障がいの有無にかかわらず、平等に情報が伝わらなくてはならないと考えます。視覚障がい者への行政通知は特性に配慮されてなく、合理的配慮が義務づけられている行政として、平等な情報提供が実行されるのはいつになるかと質しました。執行部は、様々な情報媒体を活用して発信している。全ての障がい者へ個別の対応は、作業的に困難・不可能であり、関係機関等と調整をすると答弁されました。

私は、再度、実行するための方法を模索する姿勢を求めました。

③市民が寄せる意見、要望の回答が十分なされていないとの声があり、市長へ現状の把握、市民の声を聴き、どう向き合おうとされているかと尋ねました。市長は対応不足を解消する。市民の声は重要と考え、時間をかけて確認し、優先順位を考慮し市民に寄り添った市政を進めると答弁されました。

三次市民憲章には『大切にします みんなの夢 みんなの笑顔』の一文があり、「一人一人の権利とお互いの自由と幸福を求める権利を相互に認め合う…云々」と解説されています。市民憲章を大切に考えています。

令和2年度会計決算の質疑

決算審査では、事業経費ごとに財源内訳、事業概要、事業実績、事業の成果・評価を記載した「事業別審査シート」により、審査を行いました。

決算の中で、公用車10台の購入を「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を財源として購入することは、民間業者の方がコロナ禍のなかで苦しんでおられる状況の中、市民の方が納得できる説明が必要であるという意見が多く出されました。

※ 地元車である自動車を購入することは、三次市内にマツダの下請け企業が多くあり、関連企業で働く方や、自動車販売店の応援につながり、感染症対応分として認められている予算です。

令和2年度決算を審査することにより、今年度を含め将来の事業展開、方向性について執行部に質疑を行うとともに、「事業別審査シート」内に記載してある、不用額が多額であるため、予算決算常任委員長報告では、「事業の進捗状況を十分に精査し、多額の不用額が生じないように努められたい」と意見を付しました。

決算審査で 〇〇見えてきたもの

①ラジコン草刈り機はJA三次が管理し活用
1000㎡当たり

平地 13,200円+出張料3,300円

傾斜地 16,500円+出張料3,300円

②鳥獣被害防止対策で、カラス等鳥対策のための資材購入の助成制度が「三次市土地改良区」にあります。

6万円までの助成（詳しくは本庁・支所・土地改良区へお問い合わせください。）

③水道事業で、給水工事は受益者負担で工事を行うこととされています。市民の皆さんに水道を利用していただきやすくするために、令和3年度から給水工事費最高50万円まで水道局で助成しています。

の8日に災害対応中心の補正予算(案)が提出され、即日審議し採決しました。
一日も早い災害復旧を願うものです。
9月定例会は、令和2年度決算認定の議会でもあり、予算決算常任委員会です。予算の使われ方や、次年度以降の事業に生かされることを願って審査を行いました。

(横光春市)

議員定数等調査特別委員会

第2回議員定数等調査特別委員会は7月20日に開催しました。

議員定数を検討するなかで、各議員の感覚だけで検討するのではなく、三次市と同じような自治体(類似団体)の予算額、面積、財政力指数等色々な状況を調査したり、市民の皆さんの意見もしっかりと聞かせて頂いたりして、議員間討議をしっかり行うことなどを協議しました。

第3回議員定数等調査特別委員会は8月19日に開催しました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度も議会報告懇談会が実施できないことから、小田委員長と杉原副委員長が住民自治組織の会議に出席し、意見交換された報告を受けました。

報告は、議員定数に関して、市民アンケートを実施することから住民自治組織との意見交換会は、実施しないという内容でした。

委員会では、アンケート調査のスケジュール、実施方法、設問項目等の協議を行うとともに、類似団体(三次市といろいろな条件が似ている自治体)の議員定数推移等を確認し、自由討議を行いました。

第4回議員定数等調査特別委員会は9月2日に開催しました。

委員会では、アンケートの試案について協議を行いました。アンケートの結果は「議会だより」等で公表すべき等の意見が出されました。また、住民自治組織への協力依頼等についても協議しました。

(杉原利明・横光春市)

「真正会だより」は次の議員で編集しています。

会派議員	問合せ先電話番号
杉原利明	0824-63-4205
齊木亨	0824-55-7116
鈴木深由希	0824-67-3138
横光春市	0824-52-2326

編集後記

夏には異常気象が続きました。7月豪雨災害、雨の降らない日が続いたかと思うと8月の台風、お盆の大雨による災害の発生です。

災害発生時に一所懸命に活動している消防団員の姿には頭が下がります。一日も早く災害復旧を行うために7月末には議会臨時会を、8月に発生した災害復旧の対応予算は、9月定例会会期中

2021年10月～12月三次市議会議員活動報告

みよしの希望

真正会だより

発行者 三次市議会議員

会派 真正会

三次市十日市中二丁目8-1

令和4年1月1日発行



12月定例会 12月3日(金)～12月17日(金) 15日間開催される

- 12月 2日 12月定例会前日議会運営委員会
- 12月 3日 12月定例会本会議、全員協議会、広報広聴常任委員会
- 12月 6日 一般質問
- 12月 7日 一般質問
- 12月 8日 一般質問、議員定数等調査特別委員会
- 12月 9日 産業建設常任委員会
- 12月 10日 総務常任委員会
- 12月 13日 教育民生常任委員会
- 12月 14日 議員定数等調査特別委員会
- 12月 15日 予算決算常任委員会(補正予算(案)審査)、議会運営委員会
- 12月 17日 12月定例会本会議(最終日)、定例会開会前議会運営委員会・定例会閉会后議会運営委員



国の動きは三次市へ

国の動きが地方自治体の事業執行や予算に影響することが顕著に表れた12月定例会です。

定期の補正予算より別に、定例会開会日前と最終日に補正予算(案)が提出されました。内容は、平成15年4月2日から令和4年3月31日生まれの子どもを対象とした「子育て世帯への臨時特別給付金」で子ども一人当たり10万円を12月と1月に5万円ずつ給付する補正予算で、事務費を含め総額7億5,917万円です。

12定例会には、新型コロナウイルスワクチン1・2

回目接種者の増加に伴う接種委託料の増額及び3回目接種にかかる経費1億7,879万6千円の補正予算も提出されました。3回目接種は、現時点では2回目接種から8カ月の間隔が必要です。

3回目の予防接種がスムーズに接種されるとともに、治療薬の開発が進み、従前の日常生活、経済活動、文化や地域行事が開催されるのはいつの日か? 待ち遠しいですね。日常生活も、感染対策をしっかりと取り組んでまいります。(横光春市)

総務常任委員会報告

総務常任委員会は12月10日に開催され、議案2件の審査と所管事務調査2件を調査しました。

三次市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例(案)は、三次中央病院に勤務する医療職の職員に12月29日から翌年の1月3日(年末年始)に勤務した場合に休日勤務手当を1回につき6,000円を支給するという改正です。

委員からは、条例や規則に関することや6,000円に決めた背景等の質疑がありました。

所管事務調査では、三次市避難行動要支援者支援に関する取組について危機管理監の説明を聞き、要支援者名簿の取り扱いや避難所のあり様、自主防災会等各組織との連携、名簿に掲載されない要支援者への対応等いろいろな方向からの質疑があり、今後の取組に活かされるどころです。

今後、行政として関係者や関係機関との調整を行い、3月上旬ごろ、意向確認結果を反映した名簿を作成し、避難支援等関係者へ提供される運びです。

(齋木 亨・横光春市)

教育民生常任委員会報告

教育民生常任委員会は12月13日に開催され、議案8件の審査と所管事務調査を行いました。

7議案については全員一致で可決しましたが、「三次市特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(案)」は、賛成多数で可決しました。

委員会として、「委員の任用にかかる準備等、学校運営協議会制度の運営に必要な手続きを計画的に進め、着実な事業の推進に努められたい」と意見を付しました。

今年度、障害者6団体と意見交換を行い、実態の把握に努めるため「障害者支援センター」について所管事務調査を行いました。設置目的は障害者・児が地域で自立した日常生活、社会生活を営むための支援を行うことで、総合相談支援、専門機関との連携、社会資源活用、虐待防止、権利擁護、関係団体の支援・情報提供・啓発等の事業を実施している。相談内容の多様・複雑化によりセンターだけでは解決が困難な課題や市内の社会資源だけでは対応できない課題が増加。支援者側のスキルアップと、関係機関の連携が求められているとの報告でした。福祉施策において、関係機関の役割が断片的で情報共有が不足している状況の改善と障害に寄り添う啓発強化を伝えました。

(鈴木深由希)

産業建設常任委員会報告

産業建設常任委員会は12月9日に開催され、議案2件の審査と所管事務調査を行いました。

所管事務調査では、三次市も参画している広島県水道企業団(広島県内の水道事業の統合を目的として、令和4年11月の企業団の立ち上げをめざし、広島市や福山市などを除く県内15市町が協議を重ねています。)の事業計画骨子(案)がまとまったので途中経過の報告を受けました。

三次市もこの企業団に参画することにより、令和5年度以降の40年間で施設整備費や維持管理費に係るコストは68億円の削減効果が試算されております。

これにより、三次市単独で水道事業を経営するより水道料金の上昇は抑えられる見込みとなっております。

人口減少に伴い自治体歳入が減る中でも、市民の命に直結する水道事業は確実に維持継続していかなければなりません。持続可能な水道事業の構築に向けて、今後もしっかりと意見を述べると共に市民の皆様にお伝えして参ります。

(杉原利明)

議員定数等調査特別委員会

議員定数等調査特別委員会は11月10日に開催しました。今回の委員会では、市民の皆さんからお寄せいただいた「三次市議会に関するアンケート」回収結果について報告を受け、自由討議を行い、次回委員会で各会派の意見を報告することを申し合わせました。

アンケート回答数は1,623人で、その内、定数について回答いただいた人は1,426人でした。

回答いただいた定数について大まかに分類すると、25人以上は64人、現状維持の24人は345人、23人以下は1,017人でした。詳細はホームページで公表予定です。

第7回委員会では、議員定数について各会派の考え方の報告を受けるとともに、議会全員協議会で中間報告書(案)についても自由討議を行いました。

その後、議会全員協議会の意見をもとに定例会中に2回委員会を開催し修正を行い、議員定数等調査特別委員会として報告書をまとめ、12月定例会最終日に報告しました。

今回初めて取り組んだ議員定数等に関するアンケートでは、議会活動、議員活動に対する厳しいご意見や指摘を寄せいただきました。私たちはご意見や指摘を真摯に受けとめ活動してまいります。

(杉原利明・横光春市)

市政を問う!

市はどのように考えているのかな～



今期定例会の一般質問は

齋木議員と横光議員です

【齋木議員の質問】

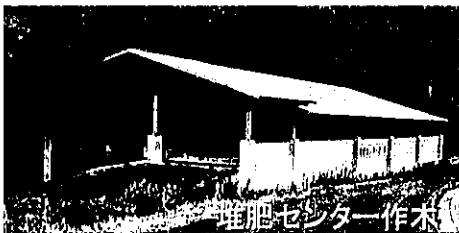
1 三次市の経済対策について

アフターコロナの経済対策。(新たな決済方式、国の方針が決まれば新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の拡充など)・市内大型ショッピングセンター閉館、建替で市の支援は(助言など)・併設されている市の「あそび工房」の存続は。(閉館になる)

2 酪農業の現状について

堆肥の利用状況の改善に購入促進支援を。(追加の補助金は無し)市内各種農家の堆肥利用に国の支援は。堆肥を用いた新たな肥料の取組み

の創出は。(JAや県、広島県酪農業組合等と環境保全型農業推進を検討する)



3 三次市観光戦略について

地域で企画されるツアーについて市の評価は。(滞在時間の延伸や観光消費額の増大に繋がる)・DMO三次観光まちづくり機構に対する市の責任は。(職員の派遣や財政支援、自治連や関係機関などとの情報交換を図る)

4 三次市過疎地域持続的発展計画について

過疎地域に新しい人材、後継者が帰りたくなるような市の事業は。(人材確保が大事、ずっと住み続けたい本部の設置。移住、体験などの後継者、移住者支援に力を入れる)

地域の人が住むための支援に市の考えは。(農地保全等新たな産業育成やテレワークなど新しい人の流れを作りたい)・新興住宅地の市道の整備に買収を伴う道路計画を。(財政面も有り現時点では検討も困難、他の方法で拡幅などを進めている)

この計画にバイオマスエネルギーなど再生エネルギーの利活用に市の部門を作っては。(未利用材の確保など重要な課題はあるが考えていきたい)

三次市周辺の僻地と言われる地域で使われる軽自動車や軽トラックに非課税もしくは軽減の検討を。(過疎計画は事業に特化するもので税の軽減を定めるものではない)

【横光議員の質問】

(1) 予算管理と長期財政運営計画について

令和2年度決算において、予算を組みながら予算執行の必要がなくなった不用額が多くありました。

そこで、調査をすると300万円以上の不用額の件数は101件もあり、予算管理を担当部局で行い、不用額を3月補正で市民要望に応える予算編成をすべきと提案しました。

長期財政運営計画では、財政調整基金残高が減少していることが気になり、財政の運営について問いました。

財政調整基金の推移を調べてみると、平成27年度末現在高は41億7,500万円でしたが、令和2年度末には28億8,500万円まで減少しています。

それは、平成30年度に10億5,700万円、令和元年度に1億3,400万円、令和2年度に1億700万円を取り崩して財政運営されているからです。

特に平成30年度に発生した災害復旧に対応したことによる、要因が大きいところです。

長期財政運営計画では、令和13年度までに36億7,800万円の基金を積み立てる計画をされていますが、財政調整基金への積立は4億4,800万円と少ないだけでなく、9億700万円の基金取り崩しであります。財政運営において、財政調整基金への積立を提言いたしました。



(2) 三次市観光戦略の方向性について

三次市観光戦略の示された内容で特筆できることは、既存の観光協会(三次市・君田町・作木町・三良坂町・甲奴町)と「みよし観光まちづくり機構」の組織を統合して、新しい組織「DMO」を設置するという計画です。

周辺部の観光はどうなるのか?とりわけ観光協会のない地域(布野町・吉舎町・三和町)の観光はどうなるのか?そのような思いをもって質問しましたが、すでに統合の方向性は決まり動きがあります。

この状況を踏まえ、統合後の周辺部の観光について模索していかなければならないと思いを新たにしました。

令和3年度一般会計補正予算(第10号)

12月定例会に提出された補正予算(案)は、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる経費や災害復旧工事などに係る補正が主な事業です。

令和3年度も9カ月経過することから、補正と同時に次年度へ繰越す「繰越明許費補正」にも追加として補正されている予算もあります。

一般会計補正予算額 7億9,557万6千円
一般会計予算総額 410億7,335万9千円

【主な財源】	(単位 千円)
国庫支出金	367,607
地方交付税	220,388
市債	126,200
県支出金	39,293
財産収入	27,560
基金繰入金	12,185

【主な事業】 (単位 千円)

- ・障害者自立支援事業 224,248
障害福祉サービス・障害児通所支援に係る給付費の増額
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業 178,796
新型コロナウイルスワクチン1・2回目接種者の増加に伴う接種委託料の増額及び3回目接種にかかる経費
- ・現年災害公共土木復旧事業 101,000
7月、8月の大雨による災害復旧工事
- ・現年災害単独土木復旧事業 59,000
8月の大雨による単独災害復旧工事(補助対象外)
- ・現年災害その他公共・公用施設復旧事業 20,000
8月の大雨による、みわ保育所駐車場法面災害復旧工事
- ・消防団装備品強化事業 15,675
水防対応能力向上を図るため、可搬型排水ポンプを消防団に追加で19台配備

- ・ケーブルテレビ設備改修事業 16,000
ケーブルテレビ事業で整備している光ケーブルの支障移設及び新規引き込み工事費の増額
- ・障害児保育事業補助金 15,844
支援保育士数の増加に伴う、障害児等保育実施施設への補助金の増額
- ・施設型給付費(認定こども園) 12,905
入所児童数の増加に伴う、認定こども園に係る給付費の増額
- ・分収造林事業 11,924
木材価格の高騰による分収林所有者立木売払配分金の増額(販売額から経費差引いた額×40%)
- ・特別支援教室等整備事業 11,300
特別支援学級・通級指導教室新設・増設工事及び備品購入
- ・休日夜間急患センター運営事業 10,000
受診者数減による休日夜間急患センター委託料の増額
- ・八次コミュニティセンター整備事業 10,000
八次コミュニティセンターグラウンド造成工事費の増額
- ・水防対策事業 6,041
8月の大雨の水防活動による、消防団員出動手当及び樋門操作員の報酬の増額
- 新型コロナウイルス感染症対策事業 3,550
学校における感染症対策の一層の徹底を図るために必要な備品購入費

「真正会だより」は次の議員で編集しています。

会派議員	問合せ先電話番号
杉原利明	0824-63-4205
齊木亨	0824-55-7116
鈴木深由希	0824-67-3138
横光春市	0824-52-2326

編集後記

新型コロナウイルス感染症が諸外国では広がり報道がある中、日本では終息を思わせるほど感染者が少なくなっています。

しかし、12月に入り新種のオミクロン株の感染者が確認され、各種イベントに取り組もうとする会議も状況判断を余儀なくされています。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、リモート会議も開催され参加することもあります。

リモート会議の良さもありませんが、やはり、人が会って協議することがより分かり合えるのかなと感じます。

会議室に集まり協議すること、一言一言が相手に伝わり、より分かり合える、そんな良さもあるのかなくそんな思いも。

今年もお願いいたします。
(横光春市)

2022年1月～3月 三次市議会議員活動報告

しんせいかい
みよしの希望 **真正会だより**

発行者 三次市議会議員

会派 **真正会**

三次市十日市中二丁目8-1

令和4年3月31日発行

3月定例会 2月25日(金)～3月18日(金) 22日間開催される

(仮称)三次市新学校給食調理場完成予想図

次の議員で編集しています
杉原利明 齊木亨
鈴木深由希 横光春市

(仮称)三次市新学校給食調理場

令和2年12月補正で、「学校給食調理場整備事業」を推進するために、令和2年度から令和5年度の4年間で整備する計画で「継続費」が計上され、可決しています。

継続費の年割額は、令和2年度=1,600万円、令和3年度=10億3,160万円、令和4年度=14億7,640万円、令和5年度=2,000万円、総額25億4,400万円です。

令和2年度から調査測量設計を始め、3月定例会に「学校給食調理場整備事業」関係の工事請負契約の締結に関する議案が3件提出されました。

- ・ 建築主体工事の請負金額は、13億20万円
 - ・ 電気設備工事の請負金額は、3億800万円
 - ・ 機械設備工事の請負金額は、5億8,630万円
- 3件の工事請負契約総額は、21億9,450万円です。

工事請負契約総額は、令和3年度の年割額より多い契約額となりますが、継続費は事業をスムーズに推進できるように、年度内に年割額に残額が生じたとき繰越明許費に計上しないで次年度に繰越して予算化出来るほか、当該年度の年割額が少なく

も翌年度以降の年割額があれば工事請負契約を締結することが出来る制度です。令和5年9月から旧市内の小・中学校に給食が配食されます。給食時間に児童生徒の皆さんが美味しそうに給食を食べる顔は、笑顔!笑顔!笑顔!その顔を見つめる教職員の微笑ましい顔が目につかびます。

私たち議員は、市民の付託に答えるためにも、事業推進に間違いの無いように行政チェックして参ります。
(横光春市)

議員定数は22人に決定!

3月定例会最終日の本会議に、議員発議により「三次市議会議員定数条例の一部を改正する条例(案)」が2件提出されました。

発議第3号は「24人を22人に改める」、発議第4号は「24人を20人に改める」という内容です。

議員発議、質疑、討論(反対討論・賛成討論)後、採決され、議員定数は「22人」に賛成多数で決定しました。(次回市議会議員一般選挙から適用)

発議後、質疑がありましたが、議員定数等調査特別委員会(各会派から選出)14回、議会全員協議会で議論は尽くし、議長報告後、会派代表者会議、議会運営委員会を経ての「発議第3号」です。発議者として質問されたことに真摯に答えました。

(横光春市)

令和4年度一般会計当初予算 375億8,000万円

令和4年度当初予算は、子育て・医療・福祉の充実や拠点性の維持・向上に係る施策等を推進するとともに、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げた『田園都市×デジタル～つながるみよし』の実現に向けたDXの推進や、喫緊の課題である頻発する自然災害に対する防災・減災事業に取り組むための予算編成をしたと福岡市長は表明しています。

【歳入の主な財源】

市税	6,446,165千円
地方譲与税	489,675千円
地方消費税交付金	1,170,526千円
地方特例交付金	62,449千円
地方交付税	14,350,754千円
国庫支出金	3,633,101千円
県支出金	2,794,141千円
繰入金(基金繰入金)	1,286,425千円
市債	5,488,383千円

【歳出(重点事業)】

※災害に強いまちづくり

災害復旧	1,878,164千円
防災・減災対策	941,620千円
公共下水道施設更新事業、仮設ポンプ商用電源化、ため池等治水利用、排水ポンプ場長寿命化整備事業、自主防災組織活動支援事業	

※ICT(情報通信技術)の活用で暮らしを豊かに

市民向け行政サービス	64,610千円
三次版学校ICT活用事業、ネウボラみよしDX事業、スマート農業推進事業	
DX・スマートシティ推進事業	84,700千円
・ICT利活用推進事業	
スマートシティ事業、スマートスピーカー利活用調査研究や高齢者向けスマホ教室、市民向けスマホ相談窓口、企業向けセミナーと研修会など。	
・DX推進支援事業	
マイナンバーカード普及促進・スマート行政では、WBE申請電子決済機能構築など。	

情報発信	41,866千円
ホームページ全面リニューアル事業	

※三次の元気づくり

子育て・教育	669,646千円
◆子育てでは、子どもの居場所づくり推進事業、24時間365日小児救急医療(病院事業会計)、子ども医療費助成事業 ◆教育では、個々の学び支援事業、こどもの「遊び」推進事業、 ◆保健衛生では、ネウボラみよし事業、不妊検査・不妊治療・不育治療費助成事業	

定住・商工業	51,218千円
みよし暮らし推進事業、女性活躍推進プラットフォーム事業、多様な人材確保促進事業、縁つなぐ出会い創出支援事業、事業者販路拡大支援事業	

※計画性のあるまちづくり

今取り組む継続・新規事業

学校給食調理場整備事業	1,476,400千円
県道・市道・橋梁の整備と維持等	1,020,000千円
支所耐震化等事業	118,400千円
小中学校老朽化対策事業	100,000千円
東光保育所整備事業	46,692千円
病院改築事業(病院事業会計)	30,000千円
次期一般廃棄物最終処分場整備事業	5,200千円
第3次三次市総合計画策定事業	5,000千円
県林業技術センター三次高平施設等利活用検討事業	

※スポーツ・文化の振興 3,000千円

スポーツの振興	30,400千円
カーター記念球場トイレ改修事業、スポーツのまちみよし応援事業、三次市プロ野球公式戦開催実行委員会負担金、バスケットボール3×3イベント	

文化の振興	60,322千円
奥田元宋・小由女美術館リニューアル事業、ジミーカーターシビックセンター改修事業、子ども文化芸術ふれあい事業、史跡寺町廃寺跡整備事業他	

※地域資源を活かした産業づくり	288,000千円
観光戦略推進事業、(仮称)みよしアグリパーク整備事業、農畜産物の生産力強化事業、農地等保全事業(有害鳥獣対策)、担い手育成・強化事業、薬用作物等栽培促進事業、環境保全型農業推進支援事業	

※暮らしの安心	799,864千円
生活交通確保対策事業、介護予防・生活支援サービス事業、地域医療介護総合確保事業補助金、地域包括支援センター事業、いきいき健康日本一のまち事業、休日夜間急患センター運営事業、医師確保・開業支援事業他	

令和3年度一般会計補正予算(第12号)

令和3年度一般会計補正予算(第12号)は、新型コロナウイルス感染症対応分として提出された補正予算です。補正予算(12号)は早期の予算執行が必要であるとして、定例会初日の即決を求めて、補正予算(13号)と分けて提出されています。

一般会計補正予算額 728,400千円
一般会計予算総額 42,178,129千円

【歳入の主な財源】

国庫支出金 728,400千円

【主な事業は次のとおりです】

住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 712,036千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々への生活・暮らしの支援として、住民税非課税世帯等に対して、1世帯あたり10万円の現金給付を行う。

保育士等処遇改善臨時特例事業 16,100千円

令和4年2月から9月までの間、保育士等の職員に対して3%程度の賃金改善を行う教育・保育施設委託先等に、賃金改善に要する経費を補助する。

放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 264千円

令和4年2月から9月までの間、放課後児童支援員等に対して3%程度の賃金改善を行う放課後児童クラブ運営の業務委託先に、賃金改善に要する経費を補助する。

令和4年度一般会計補正予算(第1号)

令和4年度一般会計補正予算(第1号)は国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業として、22の事業に5億3,361万1千円を新型コロナウイルスワクチン接種事業(1万人分)に9,453万6千円、そして予備費に3,000万円を、新年度当初予算編成後の国の動向と、めまぐるしく変わる国の対策に即応するために補正予算として提出されました。

歳入は、国庫支出金5億687万2千円、県支出金150万円、繰入金(財政調整基金)1億4,977万5千円です。

一般会計補正予算額 658,147千円
一般会計予算総額 38,238,147千円

令和3年度一般会計補正予算(第13号)

一般会計補正予算(第13号)は事業を精査し、歳入では「財政調整基金繰入金」の減額補正を計上したり、歳出では起債の「繰上償還元金」、「基金積立」や「現年災害復旧事業」を計上するなど、令和3年度最終補正予算です。

一般会計補正予算額 825,132千円
一般会計予算総額 43,003,261千円

【歳入の主な財源】

市税 695,825千円

市債 326,180千円

県支出金 269,782千円

地方交付税 247,920万円

寄附金 24,623千円

譲与税及び交付金 ▲182,455千円

繰入金 ▲619,287千円

(繰入金のうち 財政調整基金繰入金 ▲646,144千円)

【主な事業は次のとおりです】

繰上償還元金 1,000,416千円

地方債の後年度の利子負担の軽減を図るため繰上償還を実施(利子効果額18,109千円)

現年災害復旧事業(農林施設) 370,300千円

令和3年8月大雨により被災した農地、農業施設、林業施設の災害復旧事業(85%を予算化)

市道等除雪事業 90,000千円

市道等の除雪予算の追加補正

新型コロナウイルスワクチン接種事業 89,852千円

新型コロナウイルスワクチンの前倒し接種実施に係る経費(11,600人分)を追加することにより、18歳以上分を確保・2回目接種を完了された方に、接種間隔6カ月に前倒して接種券が発送されています。)

職員人件費 46,930千円

退職者増による追加補正

基金積立 32,693千円

ふるさと創生基金積立金
地域福祉基金積立金ほか

小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業

31,950千円

学校における感染症対策の一層の徹底を図るために必要な備品購入の経費

総務常任委員会

総務常任委員会では、議案9件と陳情1件の審査を行いました。

三次市交通観光センターと三次市山の学校設置及び管理条例の一部を改正する条例では、4月から三次市観光協会が三次観光推進機構に統括され事務所が同センターの2階に設置されることから条例改正されたものです。

三次市山の学校については、野外集会場及びグラウンドにおけるキャンプ泊利用にかかる料金設定を行うという条例改正です。

委員からは、施設利用者や地域住民の満足度が向上するなど、この度の改正の目的が十分発揮できるように、指定管理者と共に施設運営の一層の充実を図られたい。という意見を付しています。

陳情は『「島根原子力発電所2号機の再稼働をしないこと」を決議し、島根県と中国電力(株)に決議したことを通知することについて』は、陳情者が訴える再稼働に伴い、原子力災害が起こりうるとする懸念等に対する不安について、委員会議論の中でも、共感する委員発言もありました。

しかし、原子力政策は、国が法に基づき、国の責任において進められているエネルギー政策の一環であり、また、島根県や松江市及び周辺自治体の判断を尊重すべきであり、島根原子力発電所2号機について、再稼働をしないことを島根県や中国電力(株)に対して伝える根拠を持ち合わせていないと判断し、委員会として、陳情を不採択としています。(詳細は議事録の総務常任委員長報告をご覧ください)

(齋木 亨・横光春市)

～こぼれ話～

新型コロナウイルスワクチン接種経費・1回目・2回目接種者の増加と、3回目接種経費として、12月定例会に1億7,879万6千円を補正、3月定例会に8,985万2千円を補正、そして新年度予算に9,453万6千円を補正しての事業推進です。

国の動向により、早い対応の三次市です。

……～安心して～……

新型コロナウイルスワクチンの予防接種を済ませ医療機関からいただいた「予防接種済証」に塗布してある「コミナティ筋注」の最終有効年月日が、2022/01/31となっていますが、2022/04/30に3カ月延長されています。(横光春市)

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会では、議案9件の審査と所管事務調査を行いました。

審査の過程において、「三次市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例(案)」では、スマートフォンなど通信機器を利用した証明書の発行を開始するに当たっては、利便性が広く享受されるよう、操作方法などの丁寧な説明に努めること。

「三次市特別災害被害者に対する市税等減免の特別措置に関する条例の一部を改正する条例(案)」では、被害認定基準の細分化後であっても、公平、適正な罹災判定がおこなわれるよう、調査員の研修の充実に努め、生活再建に係る円滑な支援に備えられたい。

「三次市みわ郷土伝習館設置及び管理条例を廃止する条例(案)」では、近隣の関係者と細部にわたる協議を進め、有効に活用されることを期待する。

(仮称)三次市新学校給食調理場に係る3件の「工事請負契約の締結について」は、品質、競争性の確保、地元企業の育成の観点においても今後も調査研究を進められたい。また、原油価格高騰等に係る今後の影響について注視されたい。など、それぞれ意見を付しています。(鈴木深由希)

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は3月7日に開催され、議案6件の審査と現地確認を行いました。

三次市水道事業給水条例の一部を改正する条例では、現在、旧三次市と旧三次市以外で水道料金の算定方法に一部違いがあるため、2年をかけて段階的に料金の算定方法を改定し、三次市内全域で同一の水道使用料金としていくことが決まりました。

これは、人口減少や水道管等の設備更新の需要が増加したことにより、水道事業の経営が厳しい状況にある中で、「三次市水道使用料等検討委員会」で検討された内容をもとに、新型コロナウイルス感染症による経済への影響を鑑みて段階的に改定する方法となりました。

旧三次市内の【家事用】は、下記の算定方法となります。

- ・現行料金：基本水量 8㎡、
基本料金1,215円、超過料金171円/㎡
- ・令和4年10月から、基本水量 8㎡、
基本料金1,550円、超過料金180円/㎡
- ・令和5年10月から基本水量10㎡、
基本料金2,000円、超過料金220円/㎡
に改訂されます。(杉原利明)



会派 真正会議員の一般質問

市政を問う!

【杉原利明議員の一般質問】

三次市の障害児・障害者の福祉環境の向上について次のように質問しました。

広島県や広島市が運営するような公設の小児科中心の療育訓練センターは三次市内はおろか県北にもありません。

重症心身障害から発達障害を含む幅広い方々に対応できる施設を求める声は長年、途切れることなく存在し続けています。

すぐにとは行きませんが、障害をお持ちの方やそのご家族が安心して暮らせる三次市でなければならぬと考えています。

そこで、近隣自治体等と連携し、お金を出し合っ、広島県や広島市に人材確保をしてもらい、小児科発達外来、重症心身医療を得意とする小児科外来など、週に1回ずつでも医師を派遣していただく仕組みづくりを三次市障害者計画や新中央病院の基本構想・計画に載せて、数年がかりでも実現する考えはないか質問しました。

答弁は、必ずしも前向きなものではありませんでしたが、チャレンジするとの言葉が一瞬でも出てきたことは希望と感じています。

政治でしか変えられないことがあります。決して諦めずに訴えていきたいと考えています。

2点目の質問では、新年度より、市内各観光協会などが統合して、観光推進に係る組織が(一社)三次観光推進機構(通称DMO)に一元化されます。

新体制となるこの機会に、これまでの観光補助事業を総点検し、これまで通りの予算付けや財政支援を続けるのではなく、最小の投資で最大の効果が得られるように観光に係る総予算を一から再構築していくべきと訴えました。

新DMOには、観光を軸として地域の関係者を有機的に繋ぎ、地域の活性化を実現する司令塔としての役割を果たされるよう期待しています。

人口減少、財源不足が見込まれる三次市にとって、持続可能な自治体経営とは、限られた予算の中で、ヒトやモノを有効に使い、最大限の効果を出し続けていく必要があると考えます。

【鈴木深由希議員の一般質問】

学校における問題行動・不登校等への取組について質問し、学校の取組を尊重した上で「いじめ防止」、「不登校対策」について提案しました。

いじめの未然防止は「加害者」の心の闇に寄り添うことを最優先に諸外国に習いカウンセリングをして更生させる。「加害者」に加え「傍観者」も同罪であることに気づいて「傍観者」を生まない指導を。発達障害が理解されないことでいじめを解消するには、教職員、保護者、児童生徒が発達障害の特性を正しく学ぶ機会を持つこと。不登校の児童生徒の居場所が用意されているが、初期対応が重要で、友だちの関りが解決の近道になることもあり、児童生徒を「傍観者」にしない教育を。先生による不適切な言動、行き過ぎた指導が不登校の原因の場合、影響が懸念される他の児童生徒へのフォローが必要。不登校が長期化、学校の支援が効果を上げ難い場合、専門機関へ相談する機会を誤らない様に提言しました。

最後に規範意識の備わった人づくりについて、市民憲章、社会教育委員会が提唱された「三次の子育て5か条」を日々音読するなど、具体的な取り組みを提案しました。

障害者支援施策の推進に、三次市障害者支援協議会と障害者支援センターを中心に相談支援体制が構築、協議会に組織されている障害者支援ネットワーク連絡会議に6つの部会と事務局会議があります。

部会構成員から、部会において参加団体と行政の立場が明確でない、市民の為の福祉施策に反映されているのかとの訴えがありました。

「福祉施策の大きな欠陥は健常者主体で物事が協議され決定されることと言われます。連絡会議の組織の目的、役割を見直し、実践に結び付く組織の構築を目指して頂きたい。福祉施策が後退しない三次市であって欲しい。」と障がい者の声を代弁しました。



予算決算常任委員会での質疑

【総括質疑】

予算決算常任委員会の初日に施政方針等について会派を代表して福岡市長に対して総括質疑を行いました。

総括質疑は次の4点について質問しましたが、本紙面では特に、過疎地域持続的発展計画で周辺部の対策についての質疑を掲載します。

「市財政が苦しい中で、過疎対策事業債が活用出来ることは、三次市にとっては有効な財源確保であり、大型事業の推進に必要な財源となり得ます。」という市長の所信表明に対し、財源を確保して、必要な事業推進することだけを考えるのではなく、新年度の過疎地域持続的発展計画に基づく予算で、本来の過疎地域の過疎対策として、周辺部に対する過疎対策事業債を活用した事業はどの程度計画されているのか。

また、その計画が、人口減少に歯止めをかけることにつながっているのか、周辺部の過疎対策について、どのように考え推進していくのか、市長の考えを質しました。

市長は、三次消防署三和消防所に配備する消防ポンプ自動車49,644千円など周辺部の事業を22事業と市全体のソフト事業について答弁されました。

人口減少が激しく、過疎化が一層進んでいる、支所管内を始め、市中心部から離れた地域の、過疎対策を住民自治組織はもちろんのこと、市が中心となって計画し事業を進めなくてはならないと考え、周辺部の対策を強く要望しました。

【常任委員会】肺炎球菌ワクチン～免疫は5年

肺炎球菌ワクチン予防接種の費用助成事業があります。（予防接種費用の2分の1を助成・金額4,080円）対象は、当該年度に65歳から5年ごと対象者となり、1回の助成です。予防接種の免疫期間の質問に対して、免疫は約5年間あり5年に1度接種が望ましいとの答弁でした。（横光春市）

令和4年度当初予算では13の基金から12億8642万円の繰り入れをしての予算編成です。そのような中で防災・減災や時代に適応したICの活用推進、福祉の充実、給食調理場整備事業や病院改築事業へと市民のための事業は推進しなくてはなりません。健全な財政運営を期待します。

（横光春市）

議員定数等調査特別委員会

議員定数等調査特別委員会は、全14回の委員会を開催し、2月15日に議長へ報告を行いました。

議員定数については、広島県内や類似団体等の状況や市民アンケートの意見などを参考としながら自由討議を行い、現状維持の24人を主張される委員数は2人、定数22人は5人、定数20人は2人、という状況であり委員会として統一したまとめはしないで、少数意見、多数意見ともに報告しています。

また、議員報酬については、民意が多様化している中で、議員活動を専業としていきたいとの志を持ち企業を辞めて議員となるには今の報酬では将来のことを考えると難しいのではないかと併せて4年の1度の改選があり将来的には報酬を上げるべきと考えるが、コロナ禍で市民の収入等が減少している状況を考えて報酬を上げるという判断には至らない。というような意見が多く出されました。

なお、議員報酬については、市長が任命した7人の「報酬審議会」を開催して意見を聴くこととされています。現在のところ報酬審議会の開催は未定です。

本特別委員会は、3月定例会初日に委員長報告を行い、議長の「委員長報告を持って調査を終了」の宣言により、委員会としての調査を終了致しました。

詳細につきましては、三次市議会のホームページへ「議員定数等調査特別委員会報告書」として掲載していますので、ご覧いただければ幸いです。

（杉原利明・横光春市）

「真正会だより」のお問い合わせ先

会派議員	電話番号
杉原利明	0824-63-4205
齊木亨	0824-55-7116
鈴木深由希	0824-67-3138
横光春市	0824-52-2326

編集後記

令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策経費が定例会毎に計上された年度でした。

最終補正予算でも7億円余の「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業」が計上され、年度内に給付され少し心が安らぎます。

新型コロナウイルスワクチン3回目接種も進み、感染者数も激減し、従前のような地域行事やイベントが再開されることを望んでいます。

令和4年度当初予算では13の基金から12億8642万円の繰り入れをしての予算編成です。そのような中で防災・減災や時代に適応したICの活用推進、福祉の充実、給食調理場整備事業や病院改築事業へと市民のための事業は推進しなくてはなりません。健全な財政運営を期待します。

（横光春市）

振替用紙

2018年 7月 10日

貯金払戻請求書・貯金口座振替による振込受付書(兼手数料受取書)

振込元 三井住友銀行 三井住友銀行 本店	振込先 三井住友銀行 三井住友銀行 本店	口座番号 12345678901234567890	金額 ¥15,100
振込理由 フリカカセイバンク (株) 着文社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社
振込元 三井住友銀行 三井住友銀行 本店	振込先 三井住友銀行 三井住友銀行 本店	口座番号 12345678901234567890	金額 ¥15,100
振込理由 フリカカセイバンク (株) 着文社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社	振込先 フリカカセイバンク 株式会社

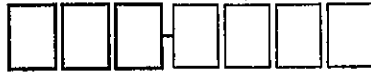
- 振込依頼日に記理印送等の不備があった場合は、照会等のため振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- 通帳機器、回線の障害等やむを得ない事由により振込が遅延することがありますのでご了承ください。
- ご指定の口座から両金を払い戻して振り込む場合、その払戻しができる場合は振込はできませんのでご注意ください。
- この振込受付書(兼手数料受取書)は、振込ができない場合などに必要となりますので、ご依頼人が大切に保管してください。
- 振込ができない場合は、この手数料のほか、別の手数料がかかる場合がありますのでご了承ください。



取扱店

支店

このJAバンクをご利用いただきありがとうございます。



様

あなたの声を市政に届けます

三次市議会

会派 真正会

〒728-8501
広島県三次市十日市中 2-8-1
(三次市役所・議会事務局内)

会派 真正会

納品書

PAGE 1

売上日 令和03年07月12日 伝票No. 00000729

真正会様

担当: [Redacted]

TEL: 0824-62-5057
FAX: 0824-62-5333



商品コード	商品名	数量	単位	単価	金額	備考
901	長3封筒 (配達地域指定)	5,000	枚		44,000	00598
901	長3封筒 (配達地域指定)	4,000	枚		36,300	00599
901	長3封筒	10,000	枚		71,500	00600
受注No. 00118556		税抜額	138,000	消費税額	13,800	151,800

営業のご案内

広告部

出版部

取引銀行

[Redacted bank information]

領収書

横光 春市 眞 正 会 様

[別納引受] 第一種定形 @84	356通	18.5g ¥29,904
小計		¥29,904
郵便物引受合計通数	356通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥29,904 ¥2,718)
非課税計		¥0
△計		¥29,904
お預り金額		¥30,004
おつり		¥100



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年 7月19日 15:39
担当：[Redacted]
発行No. 210719A8730 端N77箱01
連絡先：敷名郵便局
TEL:0824-52-2202

領収書

眞 正 横 光 春 市 様

[別納引受] 配達地域指定 @29	522通	18.5g ¥15,138
小計		¥15,138
郵便物引受合計通数	522通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥15,138 ¥1,376)
非課税計		¥0
△計		¥15,138
お預り金額		¥20,138
おつり		¥5,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年 7月19日 14:54
担当：[Redacted]
発行No. 210719A2192 端N26箱01
連絡先：吉川郵便局
TEL:0847-37-1300

領収書

眞 正 横 光 春 市 様

[別納引受] 配達地域指定 @29	604通	18.0g ¥17,516
小計		¥17,516
郵便物引受合計通数	604通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥17,516 ¥1,592)
非課税計		¥0
△計		¥17,516
お預り金額		¥20,520
おつり		¥3,004



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年 7月19日 15:21
担当：[Redacted]
発行No. 210719A0803 端N36箱01
連絡先：三和郵便局
TEL:0824-52-2000

領収書

眞 正 会 様

[別納引受] 第一種定形 @84	715通	18.5g ¥60,060
小計		¥60,060
郵便物引受合計通数	715通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥60,060 ¥5,460)
非課税計		¥0
△計		¥60,060
お預り金額		¥60,060

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年 7月19日 10:42
担当：[Redacted]
発行No. 210719A5333 端N15箱01
連絡先：大津郵便局
TEL:0824-55-2300

領収書

第 150126-06 号

おなまえ	眞正会 鈴木 深由希 様				<領収内訳>	<備考>
受領金額	万円	千	円	円	現金	26 622 円
					小切手	円
	内消費税額 円				切手	円
※ 金額欄を訂正しているものは無効です					証紙	円
					キャッシュレス決済	円
					(決済ブランド名:)	

お取引の内容																								
郵便	切手・葉書・印紙・販売品の販売 郵便料金の収納 (別納 計器予納金 受取人払 着払 その他)																							
貯金																								
保険	保険料の払込み																							
	<table border="1"> <tr> <th colspan="4">保険証券(書)の記号番号</th> <th colspan="4">払込期間及び払込月数</th> </tr> <tr> <td>年</td><td>月</td><td>期</td><td>から</td> <td>年</td><td>月</td><td>期</td><td>まで</td> </tr> <tr> <td>年</td><td>月</td><td>期</td><td>から</td> <td>年</td><td>月</td><td>期</td><td>まで</td> </tr> </table>	保険証券(書)の記号番号				払込期間及び払込月数				年	月	期	から	年	月	期	まで	年	月	期	から	年	月	期
保険証券(書)の記号番号				払込期間及び払込月数																				
年	月	期	から	年	月	期	まで																	
年	月	期	から	年	月	期	まで																	
物販等	店頭販売商品の販売 カタログ販売 その他()																							
(申込書番号)																								

上記の金額を、確かに領収いたしました。

2021 年 8 月 24 日

取扱郵便局 三次 郵便局

電話番号 62-3342

日本郵便株式会社

(所在地: 東京都千代田区大手町2丁目3番1号)

取扱者氏名 [REDACTED]

[郵便局]
収入印紙
課税相当額
以上貼付

取扱者
印

※ 裏面の「ご注意」欄をご確認ください。

第 150126-06 号

領収書

眞正会 様

[別納引受]	
第一種定形 @94	187通 ¥17,578
小計	¥17,578
区内特別基 (定)	
@84	895通 ¥75,180
小計	¥75,180
配達地域指定	
@42	830通 ¥34,860
小計	¥34,860
郵便物引受合計通数	1,912通
課税額計 (10%)	¥127,618
(内消費税等 非課税計	¥11,601) ¥0
A計 合計 お預り金額 おつり	¥127,618 ¥130,000 ¥2,382

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年2月3日 13:40
発行No. 220203A3770 端N52箱01
連絡先：三次郵便局
TEL:0570-943-753

領収書

真正会 様

[別納引受]		
第一種定形 @84	350通	18.0g ¥29,400

小計		¥29,400

郵便物引受合計通数	350通	
課税計(10%)		¥29,400
(内消費税等)		¥2,672
非課税計		¥0

合計		¥29,400
お預り金額		¥30,400
おつり		¥1,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2021年12月30日 10:51
発行No. 211230A9649 端N77箱01
連絡先: 敷名郵便局
TEL: 0824-52-2202

領収書

真正会 様

[別納引受]		
配達地域指定 @29	604通	17.5g ¥17,516

小計		¥17,516

郵便物引受合計通数	604通	
課税計(10%)		¥17,516
(内消費税等)		¥1,592
非課税計		¥0

合計		¥17,516
お預り金額		¥20,520
おつり		¥3,004



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2021年12月30日 10:38
発行No. 211230A2425 端N36箱01
連絡先: 三和郵便局
TEL: 0824-52-2000

領収書

真正会 様

[別納引受]		
配達地域指定 @29	522通	18.0g ¥15,138

小計		¥15,138

郵便物引受合計通数	522通	
課税計(10%)		¥15,138
(内消費税等)		¥1,376
非課税計		¥0

合計		¥15,138
お預り金額		¥15,138



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年1月19日 10:30
発行No. 220119A3641 端N26箱01
連絡先: 吉川郵便局
TEL: 0847-37-1300

領収書

真正会 様

[別納引受]		
区内特別基(定) @73	291通	18.0g ¥21,243

小計		¥21,243

第一種定形 @84	396通	18.0g ¥33,264

小計		¥33,264

郵便物引受合計通数	687通	
課税計(10%)		¥54,507
(内消費税等)		¥4,955
非課税計		¥0

合計		¥54,507
お預り金額		¥54,507



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時: 2022年1月11日 11:13
発行No. 220111A0614 端N43箱01
連絡先: 作木郵便局
TEL: 0824-55-2000

真正領収書
横光春市 様

[別納引受]
配達地域指定 24.5g
@29 522通 ¥15,138

小計 ¥15,138

郵便物引受合計通数 522通
課税計(10%) ¥15,138
(内消費税等 ¥1,376)
非課税計 ¥0

△計 ¥15,138
お預り金額 ¥20,140
おつり ¥5,002



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年10月15日 10:11
発行No. 211015A2918 端N26箱01
連絡先：吉川郵便局
TEL:0847-37-1300

真正領収書
横光春市 様

[別納引受]
配達地域指定 24.5g
@29 604通 ¥17,516

小計 ¥17,516

郵便物引受合計通数 604通
課税計(10%) ¥17,516
(内消費税等 ¥1,592)
非課税計 ¥0

△計 ¥17,516
お預り金額 ¥17,516



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年10月15日 9:39
発行No. 211015A1678 端N36箱01
連絡先：三和郵便局
TEL:0824-52-2000

領収書

真正会 様

[別納引受]
第一種定形 24.5g
@84 357通 ¥29,988

小計 ¥29,988

郵便物引受合計通数 357通
課税計(10%) ¥29,988
(内消費税等 ¥2,726)
非課税計 ¥0

△計 ¥29,988
お預り金額 ¥30,000
おつり ¥12



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年10月15日 9:56
発行No. 211015A9219 端N77箱01
連絡先：敷名郵便局
TEL:0824-52-2202

領収書

真正会 様

[別納引受]
第一種定形 24.5g
@84 689通 ¥57,876

小計 ¥57,876

郵便物引受合計通数 689通
課税計(10%) ¥57,876
(内消費税等 ¥5,261)
非課税計 ¥0

△計 ¥57,876
お預り金額 ¥57,876

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2021年11月4日 13:25
発行No. 211104A5683 端N15箱01
連絡先：大津郵便局
TEL:0824-55-2300

領収書
真正会
横光春市 様

[別納引受] 配達地域指定 @29	604通	24.5g ¥17,516
小計		¥17,516
郵便物引受合計通数	604通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥1,592
非課税計		¥0
合計		¥17,516
お預り金額		¥20,521
おつり		¥3,005



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年 3月29日 14:14
発行No. 220329A3220 端N36箱01
連絡先：三和郵便局
TEL:0824-52-2000

領収書
真正会
横光春市 様

[別納引受] 配達地域指定 @29	522通	24.5g ¥15,138
小計		¥15,138
郵便物引受合計通数	522通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥1,376
非課税計		¥0
合計		¥15,138
お預り金額		¥20,138
おつり		¥5,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年 3月29日 14:47
発行No. 220329A4074 端N26箱01
連絡先：吉川郵便局
TEL:0847-37-1300

領収書

真正会 様

[別納引受] 第一種定形 @84	350通	24.5g ¥29,400
小計		¥29,400
郵便物引受合計通数	350通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥2,672
非課税計		¥0
合計		¥29,400
お預り金額		¥30,000
おつり		¥600



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年 3月29日 14:25
発行No. 220329A0075 端N77箱01
連絡先：敷名郵便局
TEL:0824-52-2202

領収書

真正会 様

[別納引受] 区内特別基(定) @73	296通	24.5g ¥21,608
小計		¥21,608
第一種定形 @84	386通	24.5g ¥32,424
小計		¥32,424
郵便物引受合計通数	682通	
課税計(10%) (内消費税等)		¥4,912
非課税計		¥0
合計		¥54,032
お預り金額		¥60,000
おつり		¥5,968



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2022年 3月28日 10:48
発行No. 220328A1042 端N43箱01
連絡先：作木郵便局
TEL:0824-55-2000

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

会派名又は 議員名	会派 真正会	令和 3 年度	No.
支出項目	<input type="checkbox"/> 調査研究費 <input type="checkbox"/> 研修費 <input type="checkbox"/> 広報費 <input type="checkbox"/> 広聴費 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 会議費 <input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 人件費 <input checked="" type="checkbox"/> 事務所費		
活動内訳	備品購入費		
整理番号(枝番)	支出年月日	支出金額	用途・備考
()	令和4年3月15日	31,900	アップルペンシル63,800円×0.5
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
()			
合計		31,900	

領収証

Apple Japan, Inc.
(Apple Japan 合同会社)
東京都港区六本木6丁目10番1号
六本木ヒルズ 〒106-6140



ご注文番号: W1136577767
ご請求番号: AH30661378
お客様番号: 900111
ご請求日: 03/15/2022
ご請求金額: 63,800 円
発行日: 03/15/2022

請求先
〒 728-0012
広島県
広島県三次市
十日市中
3-13-15
杉原 利明様

配送先
〒 728-0012
広島県
広島県三次市
十日市中
3-13-15
杉原 利明様

製品番号	製品名 / 構成	数量	単価	小計
MU8F2J/A	Apple Pencil (第2世代) Agreement No.: W1136577767	4	14,500	58,000

おしらせ:

お客様のクレジットカード Visa 一括払い xxxx1296 に対し、63,800 円を請求いたしました。

上記金額を正に領収いたしました。

領収日: 03/15/2022

小計	JPY 58,000
消費税	JPY 5,800
合計	JPY 63,800

